

多様なつながりが生まれるコミュニティ

TIP

TMDU イノベーションパーク

TMDU INNOVATION PARK

東京医科歯科大学は2021年、三菱地所株式会社と共同で、

医療・研究現場を拠点とするイノベーションコミュニティ

「TIP (TMDU Innovation Park)」を湯島キャンパス内に開設しました。

設立の目的や今後の展望について、

中心となって運営する飯田香緒里教授に聞きました。

TIP HPは
こちら▶

キャンパス内に産学連携の拠点を
つくり設備や機器を提供

東京医科歯科大学では2000年代後半から、民間企業との連携による新しい技術の研究開発や新事業の創出など、産学連携の取組みに注力し、オープンイノベーションを実践してきました。今回設立したTIPは、さらなるイノベーション促進に向けて2021年7月に本学と三菱地所が共同研究契約を締結し、大学と多様な業種業界の企業、行政によるコラボレーションを誘発するために創り上げたコミュニティです。

産学連携研究センター長とオープンイノベーション機構副機構長を兼任する飯田香緒里教授は、TIP設立の経緯を次のように語ります。

「本学ではこれまでに、多くの製薬企業や医療機器メーカーにお声がけいただき、産学連携のプロジェクトを進めてきました。いずれも貴重な経験でしたが、さらに多様な業種の方々とのコラボレーションすることで、本学が掲げる「医療・ヘルスケアイノベーション」の創出に、より貢献したいという思いを持っていました。そこで、企業に向けて門戸を開放し、企業、大学、医療機関がつながるイノベーションハブを創設

しました」
TIPを活用する上で魅力の1つとなるのが、東京医科歯科大学の立地です。主要なオフィス街からのアクセスの良さはもちろん、医療施設を併設しているという医療系大学ならではの強みもあります。

「TIPを設立する上でこだわったのが、本学の研究・教育・医療現場と近接した環境でした。私たちが有する設備や機器などのリソースをお使いいただきながら、産と学の垣根を越えてイノベーションを起こしていきたかったからです。三菱地所はこの立地に関して、臨床医や研究者との接点を持ちやすいことも大きなメリットだ、とご賛同くださいました」

学生もTIPを通じて

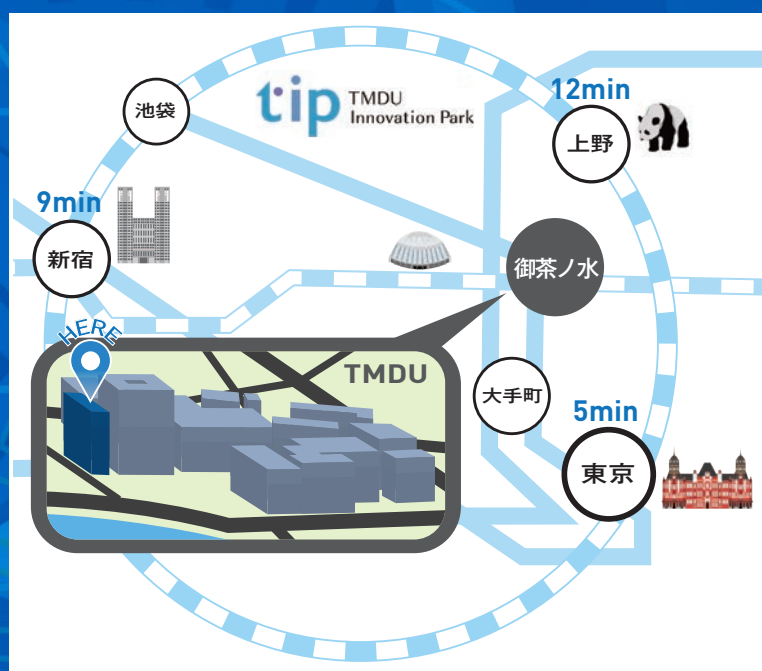
幅広い業界の人と接点を持てる

「近年、学生と講義などで接していると、ビジネスの世界や起業への関心が非常に高まっているのを実感します。そこで、TIPを通じて学生が医療現場以外の方々と接する機会をつくりたいと考え、まずは学生コンシェルジュというスタッフを「イノベーションサロン」という施設に置くことを準備中です」

共同研究・産学連携プロジェクト・ベンチャー・ビジネスモデル

革新的社会実装プロジェクト

“Total Healthcare”INNOVATION



医療系大学や病院が集積する御茶ノ水は大手町・丸の内エリアにアクセスしやすく産学連携に適した立地

TIPは、企業だけでなく、東京医科歯科大学の教職員や学生、卒業生も「TMDU会員」として活用できます。
行政とも連携しながら
トータル・ヘルスケアに貢献
TIPが本格始動してから1年弱。これまで接点がなかった多くの企業とのつながりが生まれ、多様なイノベーションが始まりつつあります。

「世の中にはたくさんのヘルスケアビジネスが存在しますが、エビデンスが不十分なサービスや製品も少なくありません。本学がサイエンス・医療の観点からコミットさせていただくことでトータル・ヘルスケア実現の一端を担えれば、と考えています」
今後TIPでは多様な展開が期待されています。最後に、医療や健康を中心とした日本の未来にTIPが果たす役割について、展望をうかがいました。



東京医科歯科大学
総合イノベーション推進機構
産学連携研究センター長
オープンイノベーション機構 副機構長
教授 飯田 香緒里 (いいた かおり)

本学の研究・産学連携推進機構 産学連携推進本部准教授などを経て現職。知的財産や産学連携の知見をもとに、多様な企業や官公庁とのネットワークを活かして産学連携活動を主導する。学内外で医療系産学連携や知財、利益相反に関するセミナーなどにも多数登壇、学会や政府の委員等に就任している。TIP (TMDU Innovation Park) の立ち上げを中核となって進めている。

自社製品をアピールする場

「イノベーションギャラリー」は、会員企業が自社製品を一定期間展示するためのギャラリーとして活用できるレンタルスペースです。

これまで、企業が医療従事者に向けて製品を紹介する機会というと学会でのブース展示などに限られていましたが、本ギャラリーは1時間から数日単位まで、期間を自由に選んで展示を行うことができます。さらに、病院の臨床スタッフが立ち寄りやすい場所にギャラリーを設置したことも大きなポイントです。

展示された製品がスタッフの目にとまりやすくなるため、企業にとっては自社製品をアピールする機会が増えることになります。

ギャラリー内にはディスカッションができるスペースも併設しているため、学内の研究者や医療従事者と会員企業が商談を行ったり、アカデミックな話題について議論をしたりするための場としても利用できます。



会議スペースやギャラリーとして使用いただけます。

学内外のコラボレーションを誘発する場

50人規模のイベントやセミナーが開催可能なサロンスペースです。医療現場の最新情報を学内外に向けて定期的に発信するための場としてフル活用していく予定です。現在はオンラインで行われている各種セミナーも、いずれはこのサロンで開催することを検討中。サロンには学生コンシェルジュを配置し、企業のニーズと本学で行われている研究を結びつける機能も持たせます。産学連携による新しい製品やサービスの開発を考えている企業



コンシェルジュデスク



各種セミナーに使用いただけます。

はもちろん、学内の研究者にとっても、「誰が、どのような研究を行っているか」は大きな関心事です。異分野の知見を使ってみることによって、研究上の課題に突破口が見つかるケースも多々あるため、学内で行われている研究には精通しておくことが求められます。このサロンでは、学内外のコラボレーションを促進し、これまでにない事業や研究を創出するための土壌づくりを担っていきます。

TIP オープンラボ

ウェットラボも備える共同研究の拠点



例) NECオープンラボ

「TIPオープンラボ」は、会員企業が利用できるラボ施設です。TIP設立以前から共同研究先の企業に学内のラボを開放していましたが、より幅広い企業がさまざまな用途で利用できるような仕組みを整えました。学内の研究者と会員企業が共同で実装に向けた研究のために使用するだけでなく、他の会員企業とのコラボレーションも可能。ドライラボとウェットラボを備えているため、幅広い研究領域に対応できるのが特徴です。

TIP:BBセミナー

研究者が持ち回りで自身の研究内容を伝える

TIPでは、週1回のペースで「BBセミナー」をオンライン開催しています。このセミナーでは、学内外の多様な研究者が、自身の手がけている研究内容に関するプレゼンテーションを実施。ちなみにBBとはBluebird(青い鳥)の頭文字をとったもので、「探しているヒト・モノ・コトはすぐ近くにあるかもしれない」という田中雄二郎学長の考えを体現したネーミングです。

「BBセミナー」は、会員企業はもちろん学内の研究者にも好評で、参加者が100名に上ることも。セミナーを通じて新たな産学連携のきっかけをつくるのと同じく、学内の知の融合も誘発していきます。セミナー後のコミュニケーション機会も見越して、今後はイノベーションサロンでの開催も検討しています。



▲BBセミナーのご案内はこちら

機器シェアリング

ハード面から産学連携をバックアップ



貸出をしている電界放型走査電子顕微鏡 JSM-7900F (EDS付)



▲機器シェアリングのご案内はこちら

機器シェアリングは、企業に本学の最先端機器をご活用いただけるサービスで、マイクロCTや超解像度顕微鏡、ウルトラミクロトームなど、高度研究に対応できるラインナップを揃えています。

コワーキングスペース

ソロワークやミーティングに幅広く活用できる

コワーキングスペースは、学内の研究者や学生、会員企業がソロワークに利用できます。ミーティングが行える会議スペースも備えているので学内の研究者と企業、あるいは企業同士がコミュニケーションを深める場として活用することも可能です。

同じフロアには学生コンシェルジュを配置しているため、企業が求める内容に応じて、学内の研究者がどのような研究活動を行っているかを紹介することができます。